

2020 年 2 月 27 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

## 「資源ツインαファンド(通貨選択型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「資源ツインαファンド(通貨選択型)」の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

### ◆ 「資源ツインαファンド(通貨選択型)」の基準価額

コース名	2020 年 2 月 26 日 基準価額(円)	2020 年 2 月 27 日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
ブラジルリアルコース	779	724	▲55	▲7.06
トルコリラコース	804	755	▲49	▲6.09
米ドルコース	1,156	1,091	▲65	▲5.62

(騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

### ◆ 市況情報

	2020 年 2 月 21 日	2020 年 2 月 26 日	騰落率 (%)
原油先物価格	53.38	48.73	▲8.71
金先物価格	1,648.80	1,643.10	▲0.35

(小数点第 3 位四捨五入)

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、2 月 21 日と 2 月 26 日を比較しています。

原油先物は WTI 原油先物、金先物は COMEX 金先物の価格を使用しています。

原油先物価格の単位は米ドル/バレル、金先物価格の単位は米ドル/トロイオンスです。

	2020 年 2 月 21 日	2020 年 2 月 26 日	騰落率 (%)
ブラジルリアル(対米ドルレート)	0.2282	0.2278	▲0.17
トルコリラ(対米ドルレート)	0.1639	0.1625	▲0.87
米ドル(対円レート)	111.70	110.58	▲1.01

(ブラジルリアルとトルコリラは小数点第 5 位四捨五入、米ドルおよび騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

為替レートは、WMロイター社が発表するロンドン時間午後 4 時のレートです。

ブラジルリアル(対米ドルレート)とトルコリラ(対米ドルレート)の単位は米ドル、米ドル(対円レート)の単位は円です。

各レートについては基準価額への反映を考慮し、2 月 21 日と 2 月 26 日を比較しています。

出所:ブルームバーグ

◆足許の状況

新型コロナウイルスの感染が、発生源の中国国内のみならず韓国や欧州地域、中東、南米へと拡大していることから、世界経済への悪影響が警戒されています。2020年2月24日から26日にかけては、経済活動の停滞による需要の減少が懸念され、世界的に株価が急落する中、原油先物価格も大きく下落しました。世界的にリスクオフの流れが強まり、新興国通貨全般が売られ下落するとともに、米ドルも対円で下落しました。このような市場動向により、当ファンドの各コースの基準価額は前営業日比で5%を超える下落となりました。

◆今後の見通し

新型コロナウイルス感染の拡大に終息の目途が立たないことや、世界経済への打撃が懸念され、原油先物市場は当面変動性の高い展開が続くと想定されます。ウイルスの発生源である中国の経済活動の停滞や人の移動の制限などにより、原油に対する需要の大幅な鈍化が懸念されています。ブラジルでは、南米大陸で初の感染者が確認されるなどウイルスへの警戒感が高まっていることに加えて、主要貿易相手国である中国への輸出減速懸念もブラジルリアル相場の重荷となる可能性があります。トルコでは、中東や欧州などの周辺地域で感染拡大が進行しており、世界的なリスクオフムードが強まる中、財政状況が脆弱であることを手がかりにトルコリラの下落圧力が高まると懸念されます。現時点では、米国で感染の拡大は見られないものの、今後の感染の状況やそれに伴った景気への悪影響次第では、米ドルが対円で更に下落する可能性も考えられます。中国国内では産業や企業への支援策に加えて中央銀行による金融面でのサポートが発表されており、各国政府でも感染防止策等が講じられていることから、新型コロナウイルス感染拡大に終息の目途が立ち、中期的には市場は一定の安定を取り戻すと期待されます。

以上

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

## 投資信託のお申込みに際してのご留意事項

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

### 投資信託に係る費用について

#### ◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.40%(税込)

信託財産留保額・・・上限 解約金額・償還金額の1.00% または1口(設定時1口1万円)あたり250円

#### ◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 年2.035%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

\*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

\*詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。